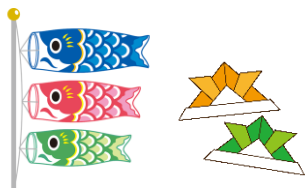




まっばら

令和4年度
第2号
令和4年4月28日
草加市立松原小学校



こどもの日

校長 中村 哲也

入学、進級から3週間が過ぎ、5月に入ります。風、薫る新緑の季節、一年の中でも、特にさわやかで過ごしやすい季節になります。子どもたちは学校にずいぶん慣れて、自分らしさを表現しながら学校生活を送っています。今年度も昨年度と同様に落ち着いた生活態度、また学習に対する集中力は相変わらず素晴らしいものがあります。特にこの4月はあいさつが素晴らしく、学年問わず毎朝、夢と希望に満ちたキラキラとした瞳で「おはようございます」と元気にあいさつを交わしてくれます。子どもたちの「学校が楽しい・学校が好き」100%を目指して、教職員一同、取り組んでまいります。

さて、5月5日は「こどもの日」です。昔から日本では中国の風習にならい、悪いことが起こらないように香りの強い菖蒲の葉を門にさして厄除けとしたり、薬草である菖蒲を湯に入れて、心身ともにリフレッシュし、暑い夏を丈夫に過ごそうとしたりしてきました。また「菖蒲」は「尚武」＝（武道や武勇を重んじること）に通じるということで、厄除けから「強く、大きく、たくましく」成長し、武士のようにたくましくなってほしい、という願いに変わり、五月人形（かぶとや鎧）を飾るようになりました。一方、こいのぼりは、黄河という大きな河の中に、竜門という流れの速い箇所があり、そこを登りきった鯉は、いつしか竜になる。という言い伝えから「鯉の滝登り」という言葉が生まれ「立身出世」（立派になって名を挙げる）を願い、江戸時代より、庶民の間に広まったそうです。古来より「子どもの健やかな成長を願う気持ち」は変わりません。

これから大型連休に入ります。ご家庭で立てられた計画を楽しく過ごすとともに、交通事故に気をつけ、事件・事故に巻き込まれないよう注意することも、忘れずに過ごしてください。また、新型コロナウイルス感染拡大、熱中症も心配されるところです。健康に留意して有意義なお休みにしてもらいたいと思います。5月もどうぞ、保護者の皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。



正門でのあいさつ運動(毎朝あいさつ運動して下さる地域の方と交通指導員様と)



北門でのあいさつ運動(毎朝あいさつ運動して下さる地域の方と)